



# しなの町 議会だより

No. 153

平成 28 年 1 月 31 日号



「9年生、町の未来を質す！」

## 第411回定例会

12月会議概要 .....	2～4ページ
議員・議案ごとの賛否一覧表 .....	5ページ
一般質問（12名が町政を質す） .....	6～11ページ
<b>特集</b> 子ども模擬議会概要 .....	12～18ページ
ぎかい活動365日 .....	19ページ
わたしの出番・一茶と俳句 .....	20ページ



# 第412回 定例会開会

信濃町議会第412回定例会が、本年1月12日に招集され、12月20日までの344日間の会議期間を決定しました。

会期は第16代議会の最終年に当たります。横川町政2年目になりますが、それをチェックするのが議会の任務と、心して役割を果たしていきます。

## 新春のご挨拶



議長 小林 幸雄

新年おめでとうございます。町民の皆様には、お健やかで希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新しい年が、皆様にとって、また当町にとっても明るく素晴らしい一年であることを心から願うものがあります。

さて昨今の国政は、安保関連法案で随分と混乱いたしました。経済関係ではアベノミクスの効果か一部には好転の動きはあるものの、地方においてはなお閉塞感が感じられるところではあります。

明るい話題としては、昨年3月に北陸新幹線が金沢まで延伸となり、新しい時代が来たような印象を受けました。当町の観光なども、従来の取り組みを脱し、あらゆる角度から挑戦していく必要があります。

また町内におきましては、人口減少がさらに進み、深刻な状況です。町も人口ビジョンに沿った総合戦略を立案して対策に全力を傾けており、成果を期待するところです。議会といたしましては、長期的な地方創生の観点から、昨年引き続き「子ども模擬議会」を開催いたしました。生徒さんたちが行政や議会に関心を持っていただき、将来もこの町に住んでくださることを願っています。

今年も様々な課題がありますが、議会としてその責務を十分に認識し、議会改革や活性化に、全員一丸となって取り組み所存です。

町民各位の一層のご理解と協力をお願いし、年頭のご挨拶といたします。

## 第411回定例会 12月会議概要

第411回定例会12月会議が、平成27年12月8日から22日までの期間で開催されました。

町長提出案件は、条例制定・改正案8件、補正予算案9件、人事案件1件の計18件です。ほかに請願・陳情5件が審議されました。

一般質問には12人が立ち、町政を質しました。平成27年1月9日から開会した第411回定例会は、この12月会議の終了をもって閉会となりました。

### 条例制定

#### 委員会審査

##### 〈議案第109号〉

信濃町個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の制定について

〇「マイナンバー法」施行を受け、当町の責務、事務などを定める条例

##### 〈議案第111号〉

信濃町ふるさと移住体験施設の設置及び管理等に関する条例の制定について

〇信濃町に移住を希望し

ている人が、町内での暮らしの体験などを行う目的で一時的に生活する施設  
(字句の不備などにより議案撤回)

##### 〈議案第125号〉

信濃町ふるさと移住体験施設の設置及び管理等に関する条例の制定について

〇議案第111号の字句と条文の一部を改め、再提出したもの  
(賛成討論 北村 照明委員)

町の進める人口増対策の一環として大いに利用してもらいたい。なお、今後条例等の提出に

当たっては、十分精査し間違いのないよう要望する。

### 条例改正

#### 委員会審査

##### 〈議案第108号〉

職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例

##### 〇不要な字句の削除

〈議案第110号〉  
信濃町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

〇「マイナンバー法」に関わる改正

##### 〈議案第112号〉

信濃町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

〇年金の一元化による改正

##### 〈議案第113号〉

信濃町若者定住促進住宅条例の一部を改正する条例

〇雇用促進住宅の完成に

伴う改正

#### (賛成討論 永原 和男委員)

この条例で規定する内容が極めて抽象的で、将来訴訟等に及ぶことも考えられます。町は引き続き条例整備をするよう指摘して賛成とします。

##### 〈議案第115号〉

信濃町矢保利の館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

〇別表などの改正

(本会議での反対討論 森山の実議員)

町は「キャンプ場について野尻区の方には十分説明して納得していただいた」と答弁しましたが、私が野尻区の人に「騒音の説明はあったか」と聞いたところ、それはなかったとのことでした。バタバタと改正案を作るのではなく、「住民のために」を頭に置いて、近隣住民にもよく説明し、誰が読んでも明確にわかる条文に変えて、仕切り直しをしていただきたい。

##### 〈議案第114号〉

信濃町介護保険条例の一部を改正する条例

〇「マイナンバー法」に関わる改正

(賛成討論 荒井 賢蔵委員)

高齢者が番号を記憶するのは難しいだろうし、持ち歩くと紛失する

おそれもある。しかし、介護保険の申請に際して必ずしもマイナンバーを明記しなくても有効だという答弁があったので賛成します。

## 一般会計補正予算 修正可決

### 補正予算

#### 一般会計補正予算 (第7号)

354万円の増

#### 歳入 主なもの

〇町税 3000万円の増

〇繰入金 財政調整基金繰入金 1700万円の減

〇町債(町の借金) 690万円の減

歳出 主なもの  
〇衛生費 572万円の増  
病院事業会計繰出金、水道事業特別会計繰入金ほか  
2088万円の減

#### ※補正後の合計予算

57億1070万円

#### 修正案の内容

##### 債務負担行為の補正

〇信濃町ふるさと移住体験施設指定管理料(27年度から30年度まで)の939万円を削除



移住につなげよう体験施設

#### (修正案に対する賛成討論 青柳 秀吉議員)

この施設建設は、地方再生と人口ビジョンのための重要な施策です。ならば、行政が役場の仕事として直営で経営すべきと考えます。町長は常に財政面から事業の提案を否定しますが、金を使わないという考え

なら、3年間で900万円以上の指定管理料を支出しない計画を立てるべきです。また、町に定住促進係が設置されているのだから、町直営で努力すべきです。

(修正議決部分以外の原案賛成多数で可決)

### 用語の窓

#### 債務負担行為とは

この12月会議に提出された一般会計補正予算案第7号(議案第116号)のうち「債務負担行為補正」の「信濃町ふるさと移住体験施設指定管理料」を削除するという修正案が議員から出され、可決しました。

予算は単一年度で完結するのが原則ですが、例外もあります。一つの事業や事務がその年度で終了せず翌年以降においても「負担II支出」をしなければならぬ場合には、あらかじめ後の年度の支出を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為といいます。今回修正されたのは、議案第125号「信濃町ふるさと移住体験施設の設置及び管理に関する条例の制定について」に関する指定管理料としての、債務負担行為でした。



国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

1653万円の増

主に国庫支出金の増

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

429万円の減

主に後期高齢者医療保険料の減

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

1053万円の増

主に介護保険料の増

信濃町立病院事業会計補正予算(第4号)

病院事業収益

1386万円の減

病院事業費用

800万円の増

水道事業会計補正予算(第4号)

収益的支出

239万円の増

水道事業特別会計補正予算(第2号)

157万円の減

繰入金

727万円の減

町債

570万円の増

経営統合事業を目的とした起債

下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入

繰入金200万円の増

歳出

柏原公共下水道事業費

200万円の増

農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入

429万円の増

主に繰入金

歳出

富農農業集落排水事業費の増

429万円の増

請願・陳情

TPP交渉に関する請願

長野県農民連 信州北部農民組合 組合長 彦坂 宗雄 紹介議員 荒井 賢蔵

反対討論 佐藤 武雄議員

高度経済成長により所得が増え食の欧米化が進み、また、多様化により食生活は肉類や油脂類が増加し、穀物や野菜類が減少しました。これが食料自給率が下がった理由です。食の安全に関する衛生植物検疫措置SPSでは、WTOのSPS協定とほぼ同じ内容です。農産物の競争力をつけ農業を成長産業にして輸出を拡大すれば何の問題もありません。

「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求めると請願

長野県平和委員会 代表 永井光明 ほか四名

紹介議員 荒井賢蔵

反対討論 佐藤 武雄議員

どの国とも同盟を結ばず、自前の軍事力で平和と安全を保つには防衛費が22〜23兆円必要です。国民皆兵とともに核抑止力システムを築くの10年は必要とされています。現在の日米同盟を活用すれば年間の防衛費は5兆円前後です。この金額で世界最高レベルの平和と安全が実現できています。

戦争法案ではなく戦争を抑止し回避する戦争防止法案です。

平和安全保障関連法(戦争法)は、憲法9条に違反することは明らか

「陳情者」 信州しなの町エコツーリズム観光協会 代表理事 平木 順

「議員発議」 介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める意見書

「人事案件」 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

小松 朋美さん (古間・再) (全員賛成で同意)

「陳情者」 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子

「陳情者」 介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情

「陳情者」 観光振興に対する町の支援を求める陳情

「賛成少数で不採択」

第411回定例会 10月・11月・12月会議 議員・議案ごと賛否一覧表

○賛成 ●反対 / 病気・公務出張等により欠席・議決に参加しない(議長は議決に参加しない(-))

Table with columns for session (10月, 11月, 12月), proposal number, content, and voting results for each council member (小林幸雄, 荒井賢蔵, etc.).





# 木祖村のような、サルの群れの管理を

## 産業観光課長「11月から調査を始めます」



酒井 聡 議員

質問 昨今のサル被害について、町長の思うところを伺います。

町長 被害エリアの拡大については、深刻な問題と認識しています。

質問 被害状況の取りまとめについて伺います。産業観光課長 今年を目撃情報は21件で、8月と10月に多くみられました。被害面積は500平方メートルほどです。

質問 長野県の管理計画では、出没しているサルの様子と被害状況で、レベル1〜4までまとめられています。信濃町でのレベルは。



迫りくるサルの脅威

産業観光課長 レベル4（ほぼ通年出没する・人を威嚇する）とされています。

質問 木祖村では、発信機の取り付けなどでサルの群れを管理して、追いに成功しました。

こうしたことは、信濃町でも導入できますか。産業観光課長 この11月に、新潟県としてメスザル3頭に発信機を取り付け、本年度から生息調査を実施しています。

## 公共施設でのWi-Fi環境の整備は

質問 地方版総合戦略では、民間の観光施設でのWi-Fi環境の整備が行なわれていますが、公共施設での環境整備の必要は。

町長 今の時代、公共施設でも必要な設備だと思います。前向きに進めることが必要だと思います。

質問 国は、防災面からもWi-Fi環境整備の必要性を求めています。総務課長 災害時には携帯電話の通信規制がかりますので、避難所に対しては進めるべきものと思います。

# 病院前のバスの待合所と乗り場について

## 副町長「次年度に対応したい」



荒井 賢蔵 議員

質問 9月議会でお願したバスの待合所と乗り場についての対策は。

副町長 今年度は場所的な確保ができないので次年度で対応をしたい。今年度は従来の場所に対応させていただきたい。ただ薬局のなかで待合ができるという約束をいただきました。そこから乗車して



改善が望まれる待合所

等で歩行困難な方に限って医師の方で院内調剤も若干認めている状況です。

## 子育て支援について

質問 子育て支援などをして来たと言われたが、さらなる保護者負担軽減をする考えはありますか。

町長 公約の実現そのものがイコール将来に向けて100%それでいいんだとの考えは持っていない。具体的なことを一つ一つ重ねてやらなければとの思いです。

## 町づくり基本条例

質問 町長の公約に町づくり基本条例を掲げていますが、基本の考え方は。町長 信濃町を皆で作りに上げていくんだという精神をどう条例として生かしていくかが根幹にあるんです。

# 公用車の管理について

## 総務課長「職務の中で管理をしています」



北村 照明 議員

質問 町ではマイクロバスの更新はしないようですが、稼働状況はどうですか。

町長 4月から11月までの稼働日は82日です。質問 各種団体等、使用後の車両点検は行っていますか。

総務課長 マイクロバスの車庫建設について、町長はどうか考えていますか。

質問 交流バス後部のバンパーがへこんでおりましたが、修理は行なわれましたか。総務課長 運行管理者と

して、管理が徹底しておらなかったことを、申し訳なく思っております。運転に直接関係ない部分ということで、現在修理に出しています。

質問 公用車の車庫建設について、町長はどうか考えていますか。

町長 あれば一番よいと思いますが、歴代町長さん方も、思ってきたのだと思います。

その思いはありますがどうしてもスペースの問題もあります。車庫を建てると逆に納税関係で来られた方の停める所がない、という状況にもなりかねないというところで、慎重に検討させていただきます。

※他に交通安全についての質問しました。

# 一般質問

# 小中一貫教育の検証は

## 町長「一定の経過が過ぎた時の評価は必要」



森山 木の実 議員

質問 小中一貫教育校が開校して3年半経ちました。一定期間が過ぎたらきちんと検証すべきでは。

町長 一定の経過が過ぎた時の評価は必要。その評価を元にして、さらに次のステップへと進めるのは大切なことであろうと思います。

質問 信濃町の採った小中一貫教育校という道は



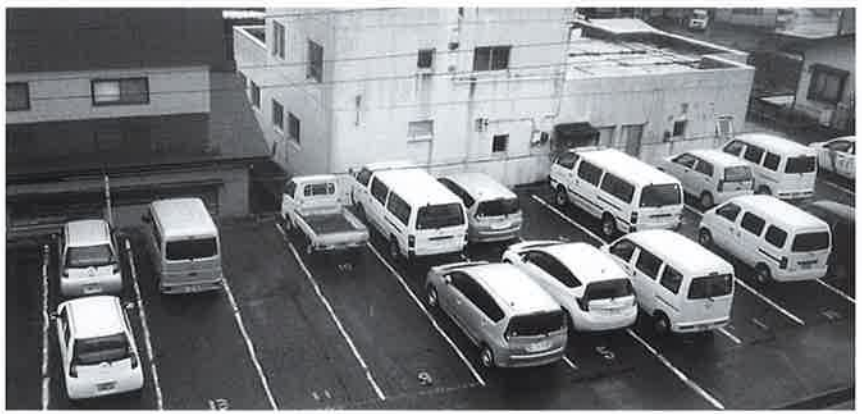
小中一貫教育の検証・評価を

うまくいったのか、また、どんな課題が残されたのか、それらをどう乗り越えて今後を生かしていくのかなど、検証は行われたのでしょうか。

教育長 総合的総括的な検証はしていません。質問 「うちの子は選んでこの小中一貫校に通っているわけではない。この町にいる限り、私立に行けば別だが、そうでなければ否が応でもこの小中一貫教育というものを受けなければならぬ。」

ればならない。自分の子が受けている教育が、普通の学校とどう違うのか、どういう利点や欠点があるのか、ぜひ知りたい」という声があります。保護者が自信を持ってこの学校に子どもを通わせるためにも、評価・検証は必要です。学校運営協議会以外の、客観的な目を持った検討委員会を要望したいのですがいかがですか。

教育長 検証の手法を作る作業は進めています。手法はいろいろありますが、これららびつりしり研修して、すばらしい検証手法を自分たちものにし、それに基づいて、客観的、総合的な仕組みを作っていくかと思っています。他に、公共交通信濃町振興局について質しました。



車庫なしの公用車



# CCRCの導入策定を町長「慎重に進め、情報収集に努めます」



湊 喜一 議員

質問 CCRCとは、健康な間から入る介護ケア付き集合住宅です。民間企業の活力を利用し、人口増に寄与できるものです。都会からシニア世代を呼び込む方策を策定することを提案いたします。

も含めて、慎重にやらなければとの思いです。民間の動向も含めて、情報の収集に努めてまいります。

## 18歳から選挙権が与えられました

質問 若年層の投票率が低いが、町の現状と今後の対策は考えていますか。

総務課長 前の衆議院選挙では24歳以下は28%強で低い状態です。対策としては、投票しやすい環境の整備が喫緊の課題です。県においても高校に選挙出前授業を行っており、啓発物品の配布、若年層への呼びかけ等、機会のあるごとに啓発活動に努めます。

## 道路交通法の改正

質問 道路交通法改正により自転車の安全運転に罰則が加わりました。町全体で自転車の安全講習をやり、周知徹底をしていただけますか。

教育次長 学校では、4



CCRC先進成功事例「シェア金沢」の風景

年生以下を対象に交通安全講習をやっています。今後、高等部におきましても、講習を行いたいと思います。

## 経費削減を早急に

質問 6月会議で質した新電力との契約で、経費の削減を提案しましたが、状況は、いかがですか。

総務課長 電力会社からの使用実績を把握している状況です。

質問 スピード感を持ってやっていただきたい。近隣自治体では、かなりの経費削減をしています。

総務課長 早急に進めてまいります。

# 町長が目指す

## 行政運営とは

町長「町民・議会・職員の皆さん方等々との信頼関係です」



佐藤 仙治 議員

質問 就任以来1年が経過しましたが、町長の目指す行政運営について再度お聞かせ下さい。

町長 基本的には、町民の皆さん方始め、議会の皆さん方、あるいは行政委員会の皆さん方、さらには事務補助者たる職員の皆さん方等々との信頼関係です。

## 行財政改革について

質問 行財政の健全化は町長に課せられた最優先課題・使命であると考えますが。

町長 しっかりとした財政というものを認識しながら、健全な財政運営に努めてまいります。

## 起債（地方債）について

質問 新年度予算編成に

あたり起債（地方債）についての、基本的な考え方は、  
町長 過疎債等々有利な起債を起こして進んでいきます。できるだけ起債を抑えて、起債償還よりも、起こす新たな借金を少なくすることが大前提です。

## 定員管理計画について

質問 総人件費の削減と職員定員管理は切り離せないものと考えますが。

町長 総人件費をどう抑制していくかということは大変重要な問題だと思っております。新たな定員管理計画の中で、全体的にこの5か年の中で5人を減じていくために、真剣に取り組んでいきたい。



5年間の新たな町づくりの指針書

# 移住体験施設の営業許可名義は

## 総務課長「指定管理者の申請となります」



吉岡 輝明 議員

## 町の創生総合戦略について

質問 町の公表しているデータによると町には毎年社会動態として200名以上の転入者があるも、その120%を超える転出者が出ております。町として、その転出者についてその中身を分析した事はありませんか。

町長 個人情報等々の問題があるのでその分析はしておりません。  
質問 多くの市町村では移住者を定住者につなげる為、移住定住コンシェルジュを配置しているが



多くの利用客を待っています

## 移住体験施設について

質問 施設の宿泊業としての営業許可取得は、  
総務課長 指定管理者が申請しますが、前提となる条件整備などの手続きを進めています。

質問 町では移住体験施設を建築中ですが、開設後のKPI(重要業績評価指標)を定めているか。

総務課長 一泊から一カ月

信濃町での対応は、  
町長 初年度として移住体験施設を整備し町内にあるNPOの皆さんとの連携を深めております。

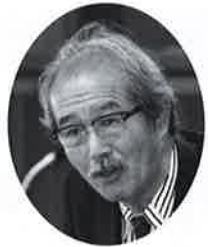
## 移住体験施設に

質問 施設の宿泊業としての営業許可取得は、  
総務課長 指定管理者が申請しますが、前提となる条件整備などの手続きを進めています。

## 地域おこし協力隊事業について

質問 地域おこし協力隊事業のKPIとして31年度定着率80%とあるがその意図するものは、  
総務課長 3年後信濃町及び近隣市町村に定住していた率です。

# 安全保障法制について 町長「法律の中で行動していく立場」



佐藤 武雄 議員

質問 安全保障法制成立後も戦争法案だとか、戦争ができる国になるなど不安をおおっている人たちがいます。また子や孫が戦争に行くなど、ひと昔前のイメージで発言している人がいます。現在は防衛、外交、インテリジェンスだけでなく、国内治安、沿岸警備、サイオ及びサイバーセキュリティ

テイなどと共に宇宙空間防衛も対象になっている時代です。集団的自衛権は同盟国どうしで戦争を回避し戦争が起きないように抑止するための権利です。この法案についての認識を伺います。  
町長 外交防衛の問題については、基本的に国の専権事項です。民主主義の社会で制定された法律については、現行の法律の中で行動していく立場です。

質問 国民保護法による自治体としての責務は、  
町長 事態が発生した場合、保護のための措置を的確かつ迅速に実施し、総合的に推進する責務があります。  
質問 過去、教職員組合の活動による問題が、各地でありました。教育委員会として職員組合の現状把握、又行動に對しての対応は、  
教育次長 組合活動は公務にあたらなため、学校及び教育委員会で個人の組合活動は、把握していません。ただし選挙運動などの政治的行為が判明すれば、服務の監督をします。  
質問 教科書選定の基準はどこにおいていますか。  
教育次長 文科省の検定済みであること、生徒の学習活動への配慮、基礎的、基本的な知識技能の習得など、総合的判断で決定しています。  
※他に観光振興への取り組みについて質問しました。



MDシステム充実を イージス艦みょうこう

(一) 一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。



# 要支援の人への新しいサービスはいつから

## 町長「今年の4月1日からです」



永原 和男 議員

質問 自民党と公明党が強行し、介護保険法が改正されました。その結果、要支援のみなさんが介護保険から切り離されて、町の事業に変わります。どのように受け止めていきますか。

町長 新たに要支援1と2の皆さんの総合事業が始まります。町が、責任をもって進める立場です。  
質問 新しいサービスはいつから始まりますか。  
町長 今年の4月1日からです。  
質問 サービスの質と量は、変わりますか。  
住民福祉課長 サービス

物の給付の検討を。町長 今の段階では考えていません。  
質問 「種そば」に助成を  
町長 そばが3年連続不作です。作付面積も減少しています。「霧下そば」のブランド名が付く町のそば、地産地消の観点からどう考えますか。  
町長 地産地消が増えてきていると思っております。  
質問 今年の「種そば」がない農家が多くあります。28年産用のそばの種の助成を提案します。  
町長 現時点では考えていません。  
質問 そばを地域奨励作物に指定し、奨励金を交付する制度を創る考えは。  
町長 今後検討しなければいけないだろうと思います。



「霧下そば」で地産地消を

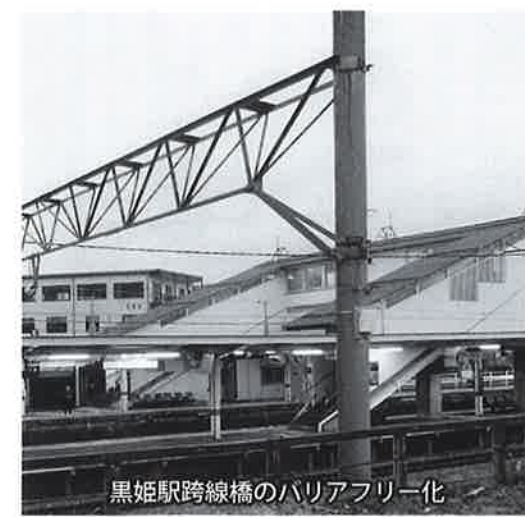
質問 農協の大合併についての考えは。  
町長 合併設立総会、推進委員会が今年6月になり、産業観光課長が委員会へ参加をし、各市町村も参画をしています。  
合併によりJAとの距離が開くことがないよう方向付けがされている状況下、新しくなる農協

# 黒姫駅のバリアフリー化は副町長「知恵を絞り、要請していきます」



石川 広之 議員

質問 町も重要視している合併については、産業観光課長 行政とJAが連携し活力ある地域農業を進めていきます。  
質問 農林課の自立は、町長 そういふ方向への考えは今のところは持っておりません。  
エレベーターよりもダイヤ改正を  
質問 今、車利用者がほとんどです。駅の利用状況、また駐車場はどのようになっていますか。



黒姫駅跨線橋のバリアフリー化

副町長 今のダイヤの中で、は不可能ですが、知恵を絞った中で改善できることは要請していきます。

さんには地域の皆さんの要望に添えていたいただきたい。  
質問 町も重要視している合併については、産業観光課長 行政とJAが連携し活力ある地域農業を進めていきます。  
質問 農林課の自立は、町長 そういふ方向への考えは今のところは持っておりません。  
エレベーターよりもダイヤ改正を  
質問 今、車利用者がほとんどです。駅の利用状況、また駐車場はどのようになっていますか。  
副町長 黒姫駅は1日800人ほどで前年並みの利用でした。また、古間駅は125%の利用でした。古間駅の駐車場は、町有地です。黒姫駅には西口と駅前には十分な町の駐車場があります。他に町区より借りている駐車場があります。  
質問 エレベーターという大きな投資よりも、経費のかからないダイヤ改正によるバリアフリー化を考えますか。

### 一般質問

# 新年度予算編成方針は町長「人口減少対策を主眼に取り組みます」



橋崎 一雄 議員

質問 経常収支比率88.5%と大変高い数値で推移して、財政構造の硬直化が進んでいます。このような中で、新年度の予算編成にどのような取り組みのかが伺えます。  
町長 過疎地域の自立促進計画、まち・ひと・しごと創生の総合戦略、長

野広域市町村における連携中核都市圏構想などの計画を念頭に置きながら、政策の推進を図っていきたくと考えています。  
特に重点的には、防災無線関係、病院建設に向けた基金の増額などが大きな予算になると思っています。  
財源については、徹底したコスト削減に努めながら、有利な財源を求めつつ予算編成をしていきます。  
大きな動向として、人口減少対策を主眼に取り組んでいきます。

## どうするのか未整備地区 下水道

質問 下水道事業の未整備地区は、今後どうしていくのか未だに方向性が見えない。  
住民の考えもいろいろあります。が、はっきりとした町長の考えをお聞きしたい。



どうする下水道事業

町長 下水道事業に着手したさまざまな状況、そして、時の理事者の大きな理念に同じ思いをもっています。  
財政的な問題もありますが、裏付けもしっかりしながら進めていきたいと、基本的な思いです。  
質問 基本的な考えをどう受け取ってよいのかわからない。具体的には。  
町長 町としてのしっかりとした基本的な考え方をまとめて、地域の皆さん方にお話をさせていただき、行動に移すという予定です。

# リフォーム補助金事業の評価は町長「評価に値する」



青柳 秀吉 議員

質問 町の経済政策としてリフォーム補助金事業をどのように評価しますか。  
町長 23年度から補助事業が始まったと聞いていますが、トータル的に平成27年度、今年度の10月末現在、交付総件数444件もある。それに対する補助額トータル的には8400万円ぐらいということですが、これに関連する対象工費が6億2000万円ぐらいというように聞いています。その面では経済的な町内での効果は非常に大きいという意味からすると、評価に値するんだらうと思っています。

質問 このリフォーム事業、補助金について、28年度以降も実施しますか。  
町長 28年度についてもこの制度は実施してまいりたい。

補助回数も増やす考えはないですか  
質問 若い人たちが空き家を使うとなれば改装は1か所ではなく、2か所、3か所出てきます。その場合、多額の予算がかかります。若者は経済的に多額の金額は持ちあわせていない場合が多い。1回で駄目ということになると、ちよつとかわい

そうなります。第7条に「交付は同一住宅及び同一人について1回に限る」と規定されていますが、事務所とお店、住居と一緒にしている事業者も多くあります。1回限りではなく、回数を増やすことと、第7条の規制を緩めていただきたい。  
町長 新年度その回数を増やすということについて、機会均等も含めて考えた場合、まだその段階ではないと思います。また規制というよりも、むしろ、使用の範囲を決めているということです。

27年度も住宅のリフォーム 支援します!!

~信濃町住宅リフォーム支援事業~

信濃町住宅リフォーム支援事業の概要

補助対象

補助対象となる住宅

2016/07/04 14:00

住宅リフォーム支援事業

(一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成します。)



# 9年生が町政を質す！ 「信濃町子ども模擬議会」今年も開会！



## 子ども模擬議会

11月5日、議会議事堂において、昨年に引き続き「信濃町子ども模擬議会」が開会されました。今回も左下表にあるとおり事前に通告書を作成し、信濃小中学校9年生の24名の生徒さんが一般質問を行い、オフトークでの生放送も行われました。



## 信濃町子ども模擬議会 一般質問通告内容

テーマ	質問事項
1 信濃町のことをPRしよう	信濃町の人口減少に対応するために、「信濃町のよさ」をPRする方法について
2 観光産業を発展させよう	信濃町を活性化するために、観光客や住民を増やすための提案について
3 自然を守り活用しよう	自然や人のあたたかさを生かし人をいやし、呼ぶようなイベントの開催や、受け入れのための施設の復活について。また、人を呼ぶためにSNSの発信で取り組んでいることはありますか。
4 施設を有効利用しよう	信濃町の公共施設を充実させ、町民が触れ合える場を増やそう。
5 特産物を使った名物を作ろう	信濃町の特産物を生かした料理を開発、商品化し、他の地域に発信し、信濃町の知名度を上げるにはどのような方法がよいのか。
6 信濃町を活性化させる行動を起こそう	ゴミのない町にするために。商店街のワンコインデーの提案 旧富士里小学校の宅地分譲について



また、今回の議長も2名の生徒さんが交替で務められ、円滑な議事の進行で、「議長」ぶりを発揮していました。

## 学校長挨拶

峯村 均 校長

昨年度より、9年生が総合的に学習してきたことを発表する場として、このような場を設けていただき、心より感謝申し上げます。信濃小中学校では、「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」を目標に、ふるさと学習を進めており、高い評価もいただいております。しかし、学校だけでできることには限界があります。地域の皆様の大きなお支えとご協力を得ながら信濃町の子どもは育っています。公職選挙法改正により、ここにいる9年生は3年後には日本を、長野県を、そして信濃町をどうしていくか判断する立場に立たされます。信濃小中学校9年生が明日の信濃町のために何を考え、何を問うのか、とても楽しみにしています。

(抜粋)

## 1班

# 信濃町のことをPRしよう

私たちPR班は、信濃町の人口減少を食い止めるために、町をPRすることが必要だと考え、次の三つの方法を提案します。

## テレビCMの効果について

Q 一つ目は、住みたくなる町、町に誇りを持つCMを作成することです。

これまでの「ふるさとCM」は観光客を増やすためのものが多かったと思います。私たちは、信濃町に「住んでみたい」と思えるCMを作成しました。テレビCMの効果は、Iターン希望者や、山村留学の希望者など、様々な世代にアピールすることができそうです。このCMを東京や地方の中心都市で流すことを提案します。

私たちが作成したもう一本のCMは、「PRは外に向けてのもの」という概念を覆し、町内の皆



さんに向けて作成しました。①より多くの年齢層に見てもらえるテレビCMという方法で、②町外の皆さんに対しては、「住んでみたい」、町内の皆さんには「信濃町は元気です」とPRし、③インターネットや、アンテナショップで定期的に流すこと、以上の3点を人口減少対策として提案します。

町長 PR活動については、信濃町についてどのように考えるかが一番大切なことだと思えます。なお、テレビCM大賞に

つきましては、小中学校の皆さんが毎年参加をしていただいています。引き続きお願いできればと思います。

## キャッチフレーズのインパクトを強く

Q 二つ目に、心をとらえるキャッチフレーズのPRポスターについて提案します。

これまでのポスターはキャッチフレーズのインパクトが弱いように思っています。そこで、心理学的に訴えの強いキャッチフレーズを取り入れてポスターを作成してみました。これらを県内の中心都市や新潟や東京などの大都市で貼りだしてみたい、と思います。

町長 現在、移住・定住に向けたウェブサイトを制作中です。このウェブサイトに、「ありえない信濃町」というキャッチフレーズで移住・定住を呼び掛けています。

## 仮想姉妹都市

について

Q 三つ目として、仮想姉妹都市の提携を提案します。

「仮想姉妹都市」とは、映画や小説などの作品に登場する架空の都市と姉妹提携を結ぶことです。大阪府堺市と福島県須賀川市では既に行われています。今回は、この2都市にアンケートを行いました。



仮想姉妹都市のメリットは、一つ目はPRの効率がよいことです。作品のファンの間で知名度が向上したことは、アンケートの回答にありま



した。二つ目は、今あるものを有効活用できるのが、低コスト、かつ少人数で行えることです。外国映画の中にも、信濃町のような山と湖が登場する物語はたくさんあります。今ある観光資源を別の視点からPRすることで大きな効果が期待できます。町長 こうした取り組みは、我々には思いつかない、大変にユニークな発想として、勉強になりました。住んでいる皆さんが「信濃町はいい所なんだ」ということを外に発信していくことも大事なことです。



2班

# 観光産業を発展させよう

私たち観光グループは、町の活性化のために必要不可欠な、観光客と町民をどうやったら増やせるかについて、次の三つの提言をします。

## オフサイト ミーティングについて

Q まず、観光客の皆さんにインタビュールを行い、信濃町の良いところを聞きました。

その結果、豊かな自然を求めて来られる観光客が多いことが分かりました。

では、自然を使って活性化していくために何ができるかを考えたとき、観光客ではなく、企業に注目してみました。

野尻湖のあるホテルには「オフサイトミーティング」という空間があります。これには、自然の中で会議を行い、都会の喧騒から離れることで、集中力が増し、新しい発想も生まれるという

効果があります。このような気持ちよく会議や研修が行える空間を、野尻湖や黒姫高原の近くに作つたらいいのでは、と思います。



これはホテルと違い、誰でもいつでも使える形にして、更に、企業・グループの皆さんが家族連れで長期滞在することで、活性化につながると考えます。

町長 こうした、素晴らしい自然を生かした活用方法については、同感しています。すぐにでもというわけにはいきませんが、大きなテーマとして、今後の観光・産業行政に

活かしたいと思います。

## 信濃町の魅力をもっと発信しましょう

Q 二つ目に、伝統工芸などの魅力を知ってもらうことについて提案します。

観光客や住民の皆さん以外に、信濃町の魅力をもっと知ってほしいと思います。信州鎌・小林一茶・野尻湖について、各地に赴きお話を聞きましした。信州鎌については歴史の奥深さを感じ、一茶記念館では、まだ広く知られていない資料があることを知りました。野尻



湖では、水をきれいにしようとする住民の皆さんの活動により、かつてよりきれいな湖になったことなどを知りました。

このように、信濃町にはたくさん魅力があるので、知ってもらうための方法として、町全体を使ったスタンプリールを提案します。

町長 伝統工芸品の後継者がいないことは、大変憂慮をしています。一方、小林一茶につきましては、現在、映画化に向けた計画が動いています。こうしたことで、全国に情報発信していくことが大事かなと思います。

## お金をかけずに イベント実施

Q 三つ目として、町が今行っているイベントについて提案します。

今あるイベントの拡大や、新しいイベントについて役場にお聞きしたところ、実現は難しいとのことでした。そこで、お金がかから



ないイベントとして、「アルプス子供会」で行っているような、スキーやキャンプなど観光を兼ねた体験事業を考えました。これによって参加費や宿泊費などの収入が得られるだけでなく、将来的な移住者の期待も見込めます。

町長 スポーツも含めて、いろいろなイベントをやっています。お金がかかるのであれば知恵を出し合って、本当に有効なイベントを実施しなければならぬと思います。模範議会の皆さんの発想豊かな提案を嬉しく思います。

3班

# 自然を守り活用しよう



私たちの班は、信濃町の大自然や人の温かさを生かしてリピーターを増やすことと、心身を癒すイベントについて調べました。

## イベントの発信力は十分ですか

Q 今、信濃町では多くのイベントが行われています。その中でも、黒姫山・野尻湖でのイベントの人氣があり、多くの人が参加しています。

しかし、その魅力について、町内外の皆さんに

対する発信力が十分でないのではと思います。信濃町の住民自身が町の良いところをもっと知る必要があると思います。

今ではSNSも発達していますので、それを利用して、町内の皆さんや信濃町に来た皆さんにPRしてもらえるものを提示してはいかがでしょうか。

また、お客さんの受け入れには施設が必要になります。新しい施設を建設せず、今あるものの復活を試みてはどうでしょうか。

町長 情報の発信力が弱いのでは、という指摘に対しては、私もそう思います。もっと積極的に情報発信に努めたいと思います。施設の有効活用については、公表できる段階ではありませんが、芽が出始めたところです。

## 森の整備について

Q 信濃町は自然の美しいところですが、景観があまり良くないところも少なくありません。そこ

で、どうすれば景観が良くなるか、アフアンの森で森について学んできました。



森を整備することによって、害獣の被害が抑えられるそうです。しかし、個人で整備しようとしても長続きしないので、町全体で行うことが大切だということです。

そこで質問ですが、こうした森の手入れについての援助はありますか。

また、町のホームページには「信濃町の豊かな自然環境をいつまでも保全し、その自然環境を生かした産業の復興に積極

的に取り組みます」とありますが、どのように取り組んでいるのですか。

持続可能な町にするためには、若者が魅力を感じる景観を保つことが必要不可欠だと思います。信濃町の産業別仕事割合によると、林業は13・4%も占めていることが分かります。

## 景観を保つために 木を植えましょう

Q 現在、町の人口は8000人ですが、2040年には5000人と、3000人の減少が見込まれています。

一方で、「木を植える」という取り組みをする人が、年々減っていることは深刻な問題だと感じました。

町長 森林は個人の財産ですので、みなさんの協力がないとできないところがあります。いづれにせよ、木を植えるという作業は、とても大切なことだと思います。



信濃小中学校では、苗木の「スクールステイ」をしていただいて、来年の全国植樹祭で植林される苗木を育てていただいています。役場としてはこういう啓発もやっていきたいと思っています。



4班

# 施設を有効利用しよう

私たちの班は、施設の有効活用について質問します。

私たちが考えた「私にとつてのふるさと」とは、「いつでも帰ってこられる場所」「安心でき、心が落ち着く場所」「これから大切にしたい場所」の三点です。そして、町の将来像を考えたとき公共施設の充実が必要ではと考え、次のように提案します。

### 公園について

Q まず、公園の有効利用について提言します。現在、町内に20か所ある公園のうち、10か所に足を運んでみました。その結果、①遊具が傷んでいる、②トイレがない、③ベンチに屋根がない、④芝生でも地面の凹凸がある、そして⑤全体的に狭いという五つの課題がみられました。

私たちの考える公園は、人と人のつながりができる場所です。そこ



で、①数よりも、ある程度広い公園を造ること、②スローパーや商業施設の隣に造る、そして③冬の間は、雪置き場にして遊び場を造ることを提言します。

町長 今のお話は、各地域にある「児童遊園」のことかと思えます。確かに古くから作られていますので、集落の役員さんにも点検などをお願いしているところです。そもそも、隣近所で使っていた方がいいということでは児童遊園が成り立っていましたので、維持管理に努めたいと思います。

### 旧小学校跡地の有効利用は

Q 次に、旧小学校の有効利用について提言します。現状として、旧古海小・旧富士里小は企業誘致の対象とされていますが、誘致されていません。旧柏原小も住民が憩える公共施設とする計画ですが実現していません。



旧小学校は親・子・孫の共通した思い出の場所であることから、全ての旧小学校を支館にして地域のよりどころに、語らいつた場することを提言します。また図書館を設けるのはどうでしょうか。町長 実際に旧校舎を使

うとなると、耐震工事をしなければならないかもしれません。1校あたり2億円ほどの財源が必要になってきます。企業誘致については、進めさせていたでいていますが、今の段階ではそういう状況になっていません。引き続き有効に活用ができるように考えていきます。

### 信越病院の

### 将来について

Q 最後に信越病院について提言します。町内唯一の病院として町のよりどころになっていきますが、次の四つの問題点があると思います。①施設の老朽化、②施設が狭く不便、③人員不足、④産婦人科がない。

私たちは病院を、治療するだけの場所にするのではなく、健康増進の場として町民が触れ合える場にするために次の二点を提案します。

まず、建て替えに合わせ、本来の病院機能に加えて、健康な人がいつ



でも健康チェックできるスペースを設けてみてはと提案します。次に、医師不足の解消については、医師確保のための奨学金を町が出して、いずれ信越病院で働いてもらうことを提案します。町長 できるだけ早く、今の時代・将来に見合った病院の姿を作っていくたいと思います。医療だけでなく予防というものを組み入れることが大事だと思えます。人員不足は地方に行けば行くほど深刻な問題です。院長と力を合わせて対応していきます。医師確保のための奨学金は県が制度を実施しています。

5班

# 特産物を使った名物を作ろう

私たちの班は、信濃町が活性化するために、特産物を広めることが必要だと考えました。しかし、特産物だけで活性化するのは難しいと思います。

### 大型ショッピングセンターで活性化を

Q そこで、特産物を扱ったカフェやレストランを含めた大型ショッピングセンターの建設を提案します。

大型ショッピングセンターを造るメリットは、一つ目として場所が適しているということにあります。信濃町はインターチェンジと国道が整備されていて、年間88万人の旅行者が訪れています。そのほとんどが高速道路から国道を通っています。例えば、国道沿いにショッピングセンターを建てた場合、来た人帰る人の目につきやすいということ。メリットの二つ目と



して、旅行者の変化が挙げられます。富山県の実例では、アウトレットモールを建てたことにより67%の観光客が増えたという統計があります。信濃町に置き換えた場合、旅行者は67%増で146万9600人となります。また、富山県では、求人倍率も上がったという統計もあります。このことから集客率や雇用が増え、活性化につながるかと考えます。

### 多目的施設で信濃町を発信しよう

Q では、大型ショッピングセンターの中には、どのような施設が必要でしょうか。私たちがまとめたところでは、①特産物を売る店、②特産物を調理して提供する店、そして、③信濃町を知ってもらうための観光施設を含んだ多目的施設などでした。

特産物は産地直送なので、安く提供できますし、今まで知られていな



かった信濃町を知っていただくことによって、移住を考えてもらえるかもしれません。

多目的施設の内容は、信濃町の四季を感じながら遊ぶことのできるスペースや、スキー場や野尻湖のイベントを知ることのできる施設です。これらを含んだ施設は、今の信濃町には必要だと思います。

以上のことを提案しますので、前向きな検討をお願いします。

町長 人口が8000人、9000人の町に対



して、大型ショッピングセンターの誘致が、出店される側としての考えもあります。「前向きな答弁を」ということですが、心の中は本当に前向きなのです。人口を増やすことを考えた時に、生活がしやすいことの一つに、大型ショッピングセンターというものがあるのであれば、将来に向けて可能かどうか進めさせていたいただきたいと思えます。



6班

# 信濃町を活性化する 行動を起こそう

私たちの班は、いつまでも住みたい町、帰ってきたくなる町、住んでみたくなる町にするために、次の三つの点を追求しました。

## ごみ問題について

Q まず、豊かで美しい自然を自分たちの手で守ることについての提言です。

私は、この自然を私たちの手で守っていかなければならないと思い、まず、ごみ拾いをしようとして野尻湖畔を1キロほど歩いてみました。その結果、140本ものタバコの吸い殻やペットボトル、釣り糸などが捨てられ



ていました。次に、これらのごみが環境に与える影響について調べてみました。たばこの吸い殻は火事につながり、捨てられたごみを野鳥などが誤って食べてしまうこともあるそうです。



そこで改善策として、①吸い殻入れを設置すること、②花を植える活動を行うことなどを考えてみました。

町では、ごみ問題についてどう思っていますか。町長 吸い殻入れを設置することは大事なことです。あわせて、ポイ捨てをしないような心の育成も必要なことだと思います。花づく

りにつきましても、ボランティアの皆さんにアイデアを紹介していきたいと思っています。

## 「ワンコインデー」で商店街の活性化を

Q 二つ目に、信濃町の商店街の活性化について質問します。

大型店や都市部への買い物客が増え、地元での買い物客が減少しています。地域振興券も人気がありますが、使用期限等の問題もあり、年間を通して誰もが参加できる企画があれば良いのではと思いました。

調べたところ、茅野市では「100円商店街」という取り組みを行っています。これを信濃町流にアレンジして、「ワンコインデー」を設けるのはいかがでしょうか。各店の事情に合わせて、100円・500円の商品やサービスを設定していただき宣伝することで、消費者の関心と呼べるイベントになると思

います。

ます。

町からの、商店街に対するサポートや活性化についての企画や考えをお聞かせください。

## 旧富士里小跡地を団地化

町長 商店街の皆さんも、これまでいろいろな工夫をされてきました。人口が減少していく中で、売り上げを伸ばしていくのは難しいでしょう。この「ワンコインデー」の提案はたいへん素晴らしいものだと思います。商店の皆さんにお伝えしたいと思います。

Q 最後に、人口流出を防ぐため、旧富士里小跡地を宅地分譲することを提言します。過去に町内で分譲された団地を調べたところ、古間南町団地は46区画分譲され、現在37区画が買い取られています。また、上島団地は63区画が分譲され売却しています。

旧富士里小跡地は現在、利用目的が決まってい



町長 富士里小学校跡地については、企業誘致で活用していきたいという話を引き継いでいます。跡地利用としていくつかの考え方がありますが、最終的に企業誘致がかなわないとなつた時に、その中の一つとしての提案になるのかなと思います。

# ぎかい活動365日

(10月から12月までの主なもの)

## 長野県 地方自治政策 課題研修会

11月12日

講演

・長野県地方創生総合戦略について

・世界で選ばれ続ける地



県の総合戦略は?

## 連携中枢都市圏 構想

中枢都市は長野市です。構想参加市町村は、須坂市・千曲市・信濃町・飯綱町・小布施町・坂城町・高山村・小川村となります。連携提案事業は、全45事業ですが、信濃町は34事業を協議しています。今後平成28年2月には連携中枢都市宣言・連携協約締結、3月には連携中枢都市圏ビジョン策定・公表となります。



図面を見ながら現地確認

## 県関係要望現地調査

10月26日、県関係要望箇所の現地調査を、服部県議、長野建設事務所、町の担当者、また、町議員との合同調査が実施されました。

かねてからの要望箇所である県道の拡幅・改修や、河川改修などすべての事業が28年度も継続となりました。



連携中枢都市圏の形成促進に向け、説明会、意見交換会

## 信濃町新情報通信事業調査特別委員会

新情報通信システムについて、行政当局と並行する形で調査・研究を進めてきたところです。行政当局は5月12日の「信濃町情報通信事業検討委員会」の答申を受け、防災行政無線(同報系)の導入を決定しました。また、試験電波による状況調

査も行いました。よって、当特別委員会に付託された案件についての調査・研究は終了しました。12月会議において「信濃町新情報通信事業調査特別委員会報告」を行い、当特別委員会の最終報告としました。

## 第4期信濃町医療体制確立等調査特別委員会

信濃町の医療体制についての政策提言に向けて調査・研究中の当委員会では、8月から町民の皆さんへの対面アンケートを行ってきました。

集計・分析にとりかかりました。ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。

域とは

山田桂一 郎氏

・阿部長野県知事より

「独自の伝統や文化を持ち、美しく豊かな自然環境に恵まれ、地域の絆や自治意識が強く、県民力の強い長野県こそが、地方創生のフロントランナーになりうる確信をしています。」

## 編集後記

新年おめでとうございます。雪が降らず、スキー客や除雪車の姿も見えないお正月でした。

豪雪は生活面では苦労もありますが、この雪が観光資源になり、雇を生み、また、地下水として田畑を潤します。いつもの冬になるように願いつつ、今年初の議会だよりをお届けします。(森)



こんにちは

# でほん わたしの出番です



## 生かされる喜び

野尻 上西絵理子さん

私どもは京都の中心地であります中京区にて、かつぼう料理屋を20年間営んでおりました。昨年五月、主人が食道癌と判明し、一瞬にして目の前が真っ暗、主人は待ち合いの椅子より暫く動けない様子でした。その後二人で気持ちを整理し、改めて食生活の見直しを考えました。

主人は仕事から食事の時間も不規則、常にお客様に追われ、ストレスを抱えながら長年仕事に携わって参りました。結果、野菜や果物をゆっくり味わって食べるのが多くありませんでした。癌に打ち勝つ為に、野菜と果物をスムージーやジュースで沢山摂取致しました。お陰様で辛い癌も消え、主人の夢を叶うべ



## 音楽は心の栄養

中島 松坂けさ子さん

昨日、スキー場は待ちに待った雪が降りましたね。庭の雪は、5センチくらいでしょう。か。「グミ」の木に積もった雪がとけて、水滴となり、キラキラと光って落ちる様子がとてもきれいです。そんな様子を、縁側か

ら眺めている私…。今日、運動不足解消に少し歩こうと思っていたのに、「これではだめだ」と又コタツに入る。自分の意志の弱さにあきれてしまう。音楽でも聞こうとラジカセのスイッチを入れる。音楽には不思議な力があります。農作業で疲れた時、一

く、知人も居ない信濃町の雄大な自然とこの地の野菜や果物に心奪われ移って参りました。

信濃町の食材を使い地産地消を主に、京都で培われた経験を生かして皆様に喜んで頂ける食材と、和の基本となるお出汁(旨味)にこだわったお料理を召し上がって頂き、お宿りの方に「ほっこり」して頂けるお宿にしたいと思っております。京オーベルジュ「ごはんのお宿ほっこり」二月吉日オープン!!

人で音楽を聞いていると自然と元気になります。町で開催されるコンサート等は必ず出席して、元気をもらって帰ってきます。音楽は、とても心と体を癒してくれます。

又、「中島一座」でも仲間に入れていただいています。セリフを覚えるのにとっても苦労しますが、老化防止のためと、頑張っています。今年、どんな演目になるのでしょうかね。楽しみにです。

## 一茶と俳句

下戸の立てたる蔵もなし年の暮 八番日記

下戸とは①律令制の四等戸の最下級。戸内に成年男子が二、三人いる戸。大戸上戸中戸。②酒が飲めない人。(広辞苑)

下戸は酒を飲まないから金がたまりそうだが、そうかといつて蓄えて倉を建てたという話も聞かない。

下戸の入った句がほかに四句あり二句を紹介しします。

下戸庵が疵也こんな蘭の花 八番日記 文政二年

下戸衆はさもいんき也花の陰 文政句帖 文政八年

「年の暮」の中から五句を選びました。

年巳に暮んとす也旅の空 享和句帖 享和三年

耕さぬ衆もいくばく年の暮 文化句帖 文化二年

羽生えて銭がとお也としの暮

証文が物をいふぞよとしの暮 文政句帖 文政六年

ともかくもあなた任せの年の暮

七番日記 文化十三年  
おらが春 文政二年  
竹内 恒男 抄出



平成元年建立  
柏原大久保 畑山昭二様宅

下戸の建てたる蔵もなし年の暮